ルーブリックを使った振り返り

目的

1. 春学期の学習で自分がどのように成長し、どの部分が課題であったかを確認する。
2. 自分の現在地を把握し、これからの学びをより良くするための手がかりを得る。

進め方

1. 各観点を確かめながら、自分がA～Dのどの段階にあてはまるかを考えてみる。
2. 「自分の強み」と「これから伸ばしたい部分」、「補った方がよい部分」を整理する。
3. 見えてきた課題をもとに、具体的な行動目標を立ててみる。

評価観点	① 学習意欲・主体性	② 情報収集力・資料の扱い	③ 文章構成力・表現力	④ 論拠の明確さ・根拠の提示	⑤ 協働性・コミュニケーション
主単元	全体	2-1、2-2、2-3	3-1、3-2、4-1、4-2	4-1、4-2	5-1、5-2、5-3
A	学習課題の目的を理解し、自らの関心を持って積極的に取り組んだ。授業外でも必要な情報や資料を自発的に調べ、学びを深めていた。	目的に応じて信頼できる情報源を複数比較・選択できた。出典を明示し、情報の正確さに注意していた。	論理的な構成で文章をまとめ、主張・根拠・結論の関係が明確であった。文体も読み手を意識していた。	自分の意見や主張に対して、具体的な事例や資料を根拠として示すことができた。	グループ内で他者の意見を尊重しながら、積極的に議論や作業に貢献した。発表やまとめでも他者との協働を意識していた。
B	学習課題の目的を理解し、授業や課題に意欲的に取り組もうとしていた。必要に応じて自分から質問や調査を行った。	適切な情報源を選ぼうとし、必要な資料を集めていた。出典の扱いにもある程度配慮していた。	構成を意識しながら文章をまとめようとしており、内容もおおむね整理されていた。	自分の意見を述べ、いくつかの根拠を示すことができた。	グループ活動において協力的に行動し、発表や話し合いに参加していた。
C	授業内容や課題には取り組んだが、自ら学びを深める行動は少なかった。	情報を集めることはできたが、情報の信頼性や出典の示し方に不十分な点があった。	文章は書けているが、構成や表現に一貫性を欠く部分があった。	意見はあるが、根拠や理由づけが十分ではなかった。	グループ活動には参加していたが、自分から意見を出す場面は少なかった。
D	指示されたことをこなすだけで、自分から学ぼうとする姿勢はあまり見られなかった。	情報収集が限定的で、出典を確認したり示したりすることがほとんどなかった。	思いついたことを並べるだけで、文章の流れや構成が整理されていなかった。	根拠を示さずに意見や感想だけでまとめていた。	グループ活動や発表にあまり関わらず、受け身の姿勢が多かった。

学籍番号〔　　〕　氏名〔　　〕